

はじめに

インターネットの普及とともに歴史研究にも使用することができる古地図や古い空中写真が公開されてきている。

今回は、どんなものが公開されているかということを中心に紹介する。

使用方法等を知りたい場合は、別途ご連絡いただきたい。

## 1 迅速測図（フランス式彩色図）

迅速測図は明治時代初期に2万分の1精度で作成され、河川や水路などの江戸時代の地形をうかがい知ることのできるアイテムである。

この地図を接合編図したものを農研機構がインターネットで閲覧、利用できる「歴史的農業環境閲覧システム」として構築し、公開している。

引用する場合は「出典 農研機構農業環境変動研究センター」を明記すればよい。

なお、位置精度は100m程度の誤差がある場合がある。

歴史的農業環境閲覧システムは種々の形態が公開されているが、簡単に利用できるのは次の4形態。

- ・歴史的農業環境閲覧システム（基本システム）<https://habs.rad.naro.go.jp/>

迅速測図に現代の数値地図25000（空間データ基盤）が重ね合わせてある。画面は小さい。（参考資料 図1-1参照）

- ・歴史的農業環境閲覧システム（比較地図）<https://habs.rad.naro.go.jp/compare.html>  
過去と現在の地図を画面左右で比較できる。（参考資料 図1-2参照）

- ・歴史的農業環境閲覧システム（全画面）

<https://habs.rad.naro.go.jp/rapid16/index.html>

迅速測図だけを全画面で表示できる。（参考資料 図1-3参照）

広範囲を見たい場合や「貼付けデータ」として利用する場合には必須。

- ・ Google Earth 用 KML ファイル [https://habs.rad.naro.go.jp/kml/habs\\_cc.kml](https://habs.rad.naro.go.jp/kml/habs_cc.kml)  
Google Earth 上で迅速測図を表示するためのもの。(参考資料 図 1 - 4 参照)  
【Google Earth を起動して KML ファイルをドラッグするか、Google Earth をインストールしてあるパソコンで KML ファイルをダブルクリックする】

Google Earth 上で迅速測図を下図としてパス（多角線）やポリゴン（多角形）のトレース図を作成でき、ツアーとして見ることや KML ファイルとして保存できる。

保存した KML ファイルは、国土地理院が公開している「地理院地図」にて利用できる。⇒地理院地図上で治水地形分類図等を利用して精度を高めることが可能

## 2 治水地形分類図

治水地形分類図は、国土地理院において 1976（昭和 51）年の台風 17 号による長良川の破堤で濃尾平野が大きな被害を受けたのを契機として、河川堤防の立地する地盤条件を包括的に把握し、さらに詳細な地点調査を行うための基礎資料を得ること、及び氾濫域の土地の性状とその変化の過程や地盤高などを明らかにすることを目的として、1976（昭和 51）年度から 1978（昭和 53）年度にかけて調査を実施し、この成果をまとめて「治水地形分類図（初版）」を作成した。そして、2007（平成 19）年度から初版の内容を見直して更新する作業に着手し、新たに「治水地形分類図（更新版）」として作成・公開している。

旧川位置の推定に役立つ「旧河道」等が表示されている。

インターネットでは、図郭単位の画像データと地理院地図によるシームレスな画像データを閲覧できる。

- ・ 図郭単位の画像データ（旧流路【明治後期～昭和】なし）（参考資料 図 2 - 1 参照）  
[https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/fc\\_list\\_a.html](https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/fc_list_a.html)
- ・ 地理院地図によるシームレスな画像データ（参考資料 図 2 - 2 参照）  
<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/bousaichiri41043.html>
- 治水地形分類図 利用の手引（PDF 5.4MB）  
[https://www1.gsi.go.jp/geowww/lcmfc/tebiki\\_211207.pdf](https://www1.gsi.go.jp/geowww/lcmfc/tebiki_211207.pdf)

### 3 地理院地図

地理院地図とは、地形図、写真、標高、地形分類、災害情報、治水地形分類図など、国土地理院が捉えた日本の国土の様子を発信するウェブ地図であり、国土地理院のサイトにアクセスするだけで利用できる。

地形断面図の作成や新旧の写真を比較する機能なども備えている。

地図は、多色の標準地図と淡色地図が基本である。

(試験公開中の Vector 版では地図彩色を変更できる)

また、パス (多角線) やポリゴン (多角形) のトレース図を作成でき、KML ファイルとして保存できる。保存した KML ファイルは Google Earth 上で表示できる。

作成した画像は、書籍、パンフレット、ウェブサイトへの地図の挿入の場合、出典と編集加工の有無を明示すれば申請なしで OK。

地理院地図 <https://maps.gsi.go.jp/>

ヘルプ <https://maps.gsi.go.jp/help/>

(参考資料 図3-1、3-2、3-3参照)

### 4 Google Earth Pro

Google 社が一般公開している地球儀システム (シームレスな衛星写真を閲覧できる) であり、パソコンにインストールして利用する。

衛星写真の更新ペースが国土地理院で公開している空中写真より速く、また、過去の姿も簡易に見ることができる。(琵琶溜井記念館付近は 2004~2020 年{低解像度})

パス (多角線) やポリゴン (多角形) のトレース図を作成でき、KML ファイルとして保存できる。パスはツアーとして再生可能であり、線形に沿った空測風景を見ることができる。

前述のとおり、農研機構 (迅速測図) や国土地理院 (標準図、淡色図、治水地形分類図等) では、それぞれの図を Google Earth 上で表示できる KML ファイルを公開している。

なお、衛星写真画像は印刷やダウンロードが可能であるが、公開は注意する必要がある。

関係する公開 KML ファイルの入手先アドレス

A 農研機構（迅速測図）

[https://habs.rad.naro.go.jp/kml/habs\\_cc.kml](https://habs.rad.naro.go.jp/kml/habs_cc.kml)

B 国土地理院（標準地図：パソコンによっては表示できない場合あり）

[http://kmlnetworklink.gsi.go.jp/kmlnetworklink/kml/gsi\\_std.kml](http://kmlnetworklink.gsi.go.jp/kmlnetworklink/kml/gsi_std.kml)

C 国土地理院（淡色地図：パソコンによっては表示できない場合あり）

[http://kmlnetworklink.gsi.go.jp/kmlnetworklink/kml/gsi\\_pale.kml](http://kmlnetworklink.gsi.go.jp/kmlnetworklink/kml/gsi_pale.kml)

D 国土地理院（治水地形分類図更新版：パソコンによっては表示できない場合あり）

[https://kmlnetworklink.gsi.go.jp/kmlnetworklink/kml/gsi\\_lcmfc2.kml](https://kmlnetworklink.gsi.go.jp/kmlnetworklink/kml/gsi_lcmfc2.kml)

（参考資料 図4-1、4-2、4-3参照）

## 5 空中写真、地形図

国土地理院では、空中写真や地形図データを地理院地図とは別個に公開している。

残念ながら地形図の解像度は低いが、空中写真は高解像度データを閲覧、ダウンロードできる。

検索サイト 地図・空中写真閲覧サービス

<https://mapps.gsi.go.jp/maplibSearch.do#1>

例：昭和22年前後の米軍撮影データ ⇒ カスリーン台風直後の様子

作成・撮影年 1945 から 1948 年までを入力

分類 空中写真にチェック

地図上で、マウスのホイールによる拡大縮小とドラッグで見たい地域に移動

該当する番号を左クリック

（参考資料 写真1参照）

## 6 黒川がよく参照する古地図等を閲覧できるサイト

（注：引用が難しい場合がありますので注意してください）

（1）国会図書館デジタルコレクション

A 城絵図等

B 新編武蔵風土記稿等（大日本地誌大系）

- (2) 国立公文書館デジタルアーカイブ
  - A 元禄や天保の国絵図等
  - B 新編武蔵風土記稿
  
- (3) 国立博物館デジタルコンテンツ
  - 五海道其外分間絵図並見取絵図（日光道、御成道、日光廻り道等）等
  
- (4) デジタルアーカイブ秋田県公文書館
  - 日本六十余州国々切絵図
  
- (5) 埼玉県立図書館デジタルライブラリー
  - 羽生領農家水配利水(図)、利根川図志等
  
- (6) ADEAC（アデアック）
  - <https://trc-adeac.trc.co.jp/>
  - A 船橋市／船橋市デジタルミュージアム
    - 下総一国之図（新井浩文氏【埼玉県立文書館】がよく引用）
    - 安政5年調 葛西用水々路の古図（橋本直子氏がよく引用）
  - B 宮代町デジタル郷土資料
    - 幸手領絵図
  
- (7) 東北大学デジタルコレクション
  - 武州埼玉郡羽生領組合繪圖（橋本直子氏が引用）